



## きんしやい!九州沖縄支部

支部長 岩崎陽一

卒業生の皆さん、お元気でお過ごしのことと存じます。この度、九州沖縄地区にも、ようやく支部が発足しました。私が思っていたより、多くの卒業生が在任していらっしゃる、心強く思っております。

二月二十六日の発会式には、学長の後藤幸男先生はじめ、佐藤長和顧問、副会長の平野昌雄様、岡田博様にご出席下さいました。卒業後、遠方のために母校の近況を知る機会がなかったので、大変なつかしく楽しくお話を伺い、ここは福岡なのに一時「大阪」かな?と錯覚が起きるくらい大阪弁が飛び交い、自

然に母校に帰ったようでした。次の会合には、もっと多くの皆さんに参加していただきたいと思っております。また、福岡だけでなく他県にも開催場所を拡げていきたいと思っております。ここ福岡は転勤族の多いところですが、他の校友会会員の皆さんも転勤になりましたら是非ご連絡下さい。

最後になりましたが、発足にあたり、副会長、校友会役員の皆様、お力添えを頂きまして本当に感謝致しております。また、こちらに旅行いらっしゃいます皆様、お知らせ下さい。少しでもお役にたてばと思っております。

きんしやい、よかと博多へ。

### ▲発起人の方と記念撮影

母校・追手門学院大学は、明後年の平成八(一九九六)年に創立三十周年を迎えます。思えば三十年の昔に、そのころは摂津富田の駅から出るスクールバスで、將軍山のある母校に通った時の毎日を懐かしく思い出します。

三十年近い齢(よわい)を重ねた母校を訪ねると、あるところには昔の面影が残り、ある場所は「えっ!こんなところあった?」いつの間にか出来た、この建物(と)と母校の変容の中で懐旧の喜びを感じるがあります。

去る三月、母校を築立ち、新しく校友会員として仲間入りした皆様に、校友会会長としてご挨拶致します。

### 新入会員の方々に

会長 関 謙 二

「あなた方は若い。私より三歳ほど、若いのですから。こんな言葉は言える年齢とし」になったのか、私は内心「おぼろげ(ないしなく)した思いはありますが、よく考えてみると、母校を出て、はじめて、母校に魅(ひ)かれて、自分自身を見いだしたことを、改めて、考えます。

在学中、一期生だった私どもは、まるで大海の小船でした。取って、大目得を切れば、後に続くを信じる、という心

境で、道を拓(ひら)いて来たつもりです。この思いを、海外にもと考えて、この校友会報から、在外の会員にもお送りすることにしました。

これら一連の活動の根底にある私やほかの役員の思いは、校友相互の親交を厚くし、校友会の組織を強化して、私学冬の時代といわれる年代にも、母校が、依然として、安泰であって欲しい、と思うからであります。

母校創立三十周年を機会に、新しい会員の皆様のみならず、より多くの会員の皆様が、校友会活動に、より積極的に、ご参加下さいますよう、切にお願い申し上げます。

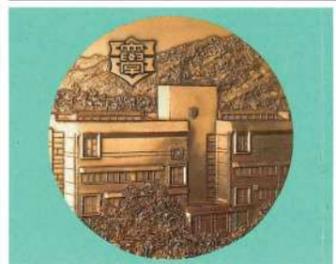
### 30周年基金のお願い

本会は、母校創立30周年を契機に、基金募集を始めております。昨年度は、百十六万円の、一頁の決算書を参照下さい。

1万円以上のご寄贈を下さった会員には、写真の賞牌をお送りしています。

賞牌は、本会が大阪造幣局に依頼して製作した青銅製です。直径68ミリ、重さ150グラム。表は北摂の山なみを背景に母校の一号館と学章。裏面には、創立30周年に制定した校友会のシンボルマークを中心とした図柄を、手にとって、ずりとした重さ、母校の姿や、在学当時のみなさまの姿を、心の中で想像してみ下さい。

「寄贈いただくために」振込用紙を、同封しております。どうか、「協力ください」。



振込先  
三和銀行茨木西支店  
普通3704765  
追手門学院大学校友会  
「創立30周年記念基金」

### 將軍山祭のご案内

今年も將軍山祭の準備が始まりました。二回生以上はもう、ジャンパーを羽織って仕事を始めています。

背中は「SHOUGUNYAMA」の大きな文字。また、テーマの「challenge」か「at」た「We are challenge」のロゴも見えます。私たちは、11月3日から6日までの將軍山祭本番に向けて様々な活動を行っています。

これに目を通されている皆さんも、色々な苦心の末に大学の一大イベントである將軍山祭を作ったのかと思います。今年で28回目。大学祭ととりま事情も年々変わってきています。規模的に、他の大学に決して引けをとらないくらいに成長した將軍山祭。そして今年のはっと欲張って、追大としての「色」をより打ち出していきたいと思っております。テーマの「challenge」は決して聞き慣れないような特別な言葉ではありません。しかし、誰にでもイメージすることが出来る、強い言葉だと思いませんか? そんなテーマに恥じない、真のオリジナリティのある將軍山祭。どんな人に来て頂いても必ず楽しんでもらえる將軍山祭を作りたいと思っております。

ことしの「challenge」運に応援をよろしく願います。また当日には、後輩たちの「Challenge」見に来てくださ

第28回將軍山祭実行委員会  
委員長 安藤賢







